

[令和4年度入試]

受験までの準備と スケジュールについて

～行動すれば高校生活のイメージがわいてきます～

2021年

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2022年

1月

2月

3月

オープンスクール・体験入学・公開見学

入試説明会

文化祭

私立学校展
10/23～24

志望校決定

推薦入試

「特色入試」が新たに始まります
(推薦入試と同日程)

願書提出

試験日

合格通知

1/19～1/21

1/26

1/27～1/28

一般入試

願書提出

試験日

合格通知

1/24～1/31

2/1・2・3

2/4～2/7

※新型コロナウイルス感染症の発生状況によって予定を変更する場合がありますので、最新状況は私学協会のホームページで確認するようにしてください。

行きたい
気持ちが
高まる!

オープン スクールへ 行こう。

私立高校は学校ごとに個性があり、一口に私立高校といっても極めて多様です。ですから、高校選びには各学校の内容を知ることが不可欠。そこで、まずは先生や先輩から話を聞いたり、実際に学校を見学できるオープンスクールへ参加してみることをおすすめします。

 体験入学で進学意欲も高まる。

オープンスクール(体験入学・公開見学等)は、実際に足を運んで、立地や施設・設備を確認できる絶好のチャンスです。自分の目で見て、聞いて、体験すれば、進学意欲も高まります。

 文化祭で雰囲気を体感しよう。

文化祭は、学校の特色が表れる行事の一つです。参加すれば校風を肌で感じることができますし、先輩たちの雰囲気もわかります。気になる高校の文化祭は行っておくことをおすすめします。

 入試問題の傾向もわかる説明会。

入試説明会は、見るべきポイントや重視するポイントを事前に整理してから参加するとよいでしょう。また、入試問題の傾向や推薦基準など具体的な情報を得ることができる機会でもあります。

先生と
直接話せる
チャンス!

私立 学校展へ 行こう。

完全予約制

※開催概要はP143をご覧ください。

 直接相談できるから
疑問も解消。

各高校のブースでは、先生が直接相談に応じるので、資料だけではわからない情報を得られるチャンスです。学校や授業のこと、部活動、進学先など、何でも気軽に質問してみよう。

 未来の自分を
イメージしよう。

志望する学校はもちろん、気になる学校の制服をチェックすれば、未来の自分が見えてくる!? 各私立高校の制服はブースでチェックできます。

毎年秋に開催している「私立学校展」は、私立高校の入試担当者が一堂に集結し、学校の特色や教育内容・施設・募集要項などを紹介する進学相談イベントです。ホームページや印刷物で得た情報や知識を実際に確かめるチャンスでもあるので、ぜひご参加ください。

 いろいろな高校の
パンフが手に入る。

参加している各学校の学校案内や募集要項などの最新情報が一気に手に入ります。先入観にとらわれず、いろいろな資料をご覧ください。気になる学校は積極的に相談ブースへ。

 気になるお金の話も
相談できます。

活用すれば、私学で学ぶチャンスが広がる私学助成制度。私学展当日は、授業料軽減補助等の私学助成制度のチラシを配布する予定です。保護者の方はぜひチェックください。

学校ごとに
しっかり
チェック!

私立高校の 入試を知ろう。

全日制課程の場合、ほとんどの学校が「推薦入試」と「一般入試」の二本立てです。ただし、私立高校の特長がその独自性と多様性にあるように、入試もその例外ではありません。各高校の具体的な入試の内容・方法は、「各私立高校の紹介」ページで確認してください。

 推薦入試の出願は1人1校のみ。

推薦入試の選考方法は、出願書類審査・基礎学力試験・面接によって行われます。推薦入試には、1人1校しか出願できず、原則として推薦入試に合格した場合、県内の他の高校(公立を含む)には出願できません。

 一般入試の試験日は3日間。

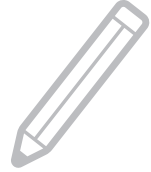
一般入試の試験日は、複数の学校を受験できるよう、また学校選択の幅が広がるように3日間に振り分けられています。そのため最大3校まで受験が可能。今年度の日程は、2月1日・2日・3日の3日間です。

 未来を開く定時制と通信制。

私立高校には、全日制課程のほか、定時制課程(1校)と通信制課程(3校)があり、それぞれ普通科、専門学科が置かれています。課程・学科の特長を調べて、自分の進路に適した選択をしてください。



Q & A



私立高校の受験について よくあるご質問

Q. 志望校はどのように
決めたらよいですか？

A. 志望校の選択は、より充実した人生を築くために非常に大切です。選択する学校によって、将来進んでいく道が左右されることも少なくありません。そのため、自分の行動や性格、職業（仕事）についての興味や適性、教科の成績や教科以外の活動、体力などを自己評価したり、将来の職業についての希望をはっきりさせ、さらには家庭の事情を考えたり、いろいろな視点から自分の進路について真剣に考えることが必要です。つまり、自分の意思と責任において進路を決めるという心構えを持つこと。もちろん、進路についての方針を決めるには、保護者や先生に相談して考えを聞くことや、体験入学の機会を生かし先輩から話を聞くなどして、自分で確かめることも重要です。

Q. 学科はどのように
選ばればよいですか？

A. 私立高校には、普通科をはじめ、多様な学科が置かれているため、学科の特長を調べて、自分の進路に適したものを選択しなければなりません。そのためには、「どのような職業に就きたいのか」、「どのような人生を歩んでいきたいのか」と、将来について考えることが大切です。自分が望む将来に何が必要なのか、そのためにはどうしたらよいのかを考えることが、適切な学科選びにつながるはずです。

Q. 総合学園へ入学すると、
大学への進学は
有利になりますか？

A. 総合学園の場合、その総合学園の設置する大学や短期大学への進学につき、一定の基準を設けて優先的に入学ができる制度があります。また、これ以外の高校でも、同系列（例えば同じ宗教系）の大学等への進学が有利になる学校もあります。また、系列大学以外でも、各私立高校から各大学への指定校推薦制度を利用して進学する方法もあります。

Q. 入学後に
転校はできますか？

A. 愛知県を含む東海3県の高校では、転入（いわゆる転校）は、原則として県外からの一家転住に伴う場合しか認められていません。これは、中学校3年生の段階で公私立それぞれ複数の受験機会のある中で、それぞれが選んだ高校を入学後に安易に転校することを認めるのは問題があるからです。生徒の皆さんは、慎重な学校選びを心がけてください。

Q. 高校の
雰囲気を知るには
どうすればよいですか？

A. 各学校のホームページを調べたり、さまざまな高校の資料を一度にもらえる私立学校展や合同説明会へ参加したりするとよいでしょう。ただ、やはり学校説明会や文化祭、オープンスクールなどの機会を利用して、直接学校に行ってみることをおすすめします。在学生や学校の雰囲気などを見たり感じたりすることで、その学校に興味を持つことができるようになるからです。自分の目で見ること、資料ではわからない新しい発見があるかもしれません。

Q. オープンスクールに
参加する上での
注意点はありますか？

A. 家から学校までのアクセス方法や時間、学校の施設や設備、卒業後の進路、入試方法など、見学のポイントを事前に確認してからの参加をおすすめします。収集した情報は後から思い出せるようにメモなどを残しておくとい良いでしょう。また、参加するときの服装は、学校から指定がなければ制服でも私服でもOKです。ただし、担当者に不快感を与えるような服装は避けましょう。受験を予定する学校へは、一度参加しておくことを、おすすめします。

Q. 私立の入試は
教科数が少ないと
聞いたのですが…。

A. 私立高校の推薦入試の試験教科は、国語・数学・英語の3教科が一般的です。一方、2021年度一般入試の試験教科を見ますと、全学科で5教科（国語、数学、英語、理科、社会）実施が40校、一部または全学科で3教科（国語、数学、英語のところが多いが、3教科のうち1～2教科を選択としているところもある。）実施が10校で、残る1校は、基礎学力テストと作文・面接を行っています。一般入試に面接を実施した学校は8校、実技試験を実施した学校は3校でした。2022年度一般入試も、全般的な傾向は変わらない見込みです。

Q. 受験の準備は
いつから始めれば
よいですか？

A. 「中学入学時から行きたい高校のイメージがある人」、「いつから塾通いを始めようかと考える人」、「そろそろ受験勉強を始めなければと焦り始める人」、考え方が人それぞれであるように、いつ準備を始めるべきかを考えるのも人それぞれ。ただし、共通して言えるのは、さあやろうと思ったときが始め時だということです。勉強をしようと思いついた今からしっかりと計画を立てて、それぞれの時期にやるべきことに取り組みましょう。

Q. 私立高校へ
進学したいけど、
学納金が心配です…。

A. 現在、愛知県内中学校卒業者のおよそ3分の1の生徒が私立高校へ進学していますが、令和2年度より授業料の支援としての国の就学支援金の支給上限額が大幅に引き上げられ、愛知県独自の授業料軽減補助金を加えると、実質無償化される家庭もあり、私立高校という選択肢がより身近なものとなりました。また、愛知県では、愛知県内の私立高校へ通う生徒の費用負担の軽減を図るために、さまざまな奨学制度（入学納付金の補助、奨学金の貸付、修学資金の貸付〔定時制・通信制〕）を設けています。詳しくは、13-16ページの「私立高校の学納金と奨学制度について」をご覧ください。

Q. 受験で英検や漢検は
優遇されますか？

A. 私立高校の推薦入試では、英検や漢検を取得していると、選抜の資料となる調査書に記載される場合もあります。ただし、ほとんどの場合あくまで加点措置であり、有利に働くものではありません。もちろん勉強しておくことで実力アップにはつながりますが、時期によっては、内申点の獲得に注力するなど、何を優先するかを見極めた方がよいでしょう。